

TOKYO創業ステーション事業概要

1. TOKYO創業ステーションの概要

TOKYO創業ステーションは、都内開業率の向上を目的とした創業支援施設である。2017年1月に丸の内拠点を開設し、2階を中小企業振興公社（以下公社）、1階「Startup Hub Tokyo」を東京都から業務委託された業者が運営している。2020年4月からは「Startup Hub Tokyo」の委託元が東京都から公社に移管され、より効率的かつ効果的な運営が求められている。

また、2020年6月には多摩拠点の開設が予定されており、両拠点の一体的な運営により、TOKYO創業ステーションのプレゼンスを最大限に高めていくことが求められている。

2. TOKYO創業ステーションの役割

- ①起業希望者等のすそ野拡大
- ②創業者を適切な他事業へつなぐ起業エコシステムにおけるハブ機能
- ③着実な創業者の輩出

3. TOKYO創業ステーション多摩拠点における役割分担

「Startup Hub Tokyo」
→起業に関心がある方を増やし、公社をはじめ、他事業等へ着実につなげるハブ機能を担う（2の①・②）
公社
→事業計画策定支援や助成金交付等、具体的に創業・起業を実現するための各種支援を担う（2の③）

4. 令和元年度 TOKYO創業ステーションの具体的な提供機能

多摩拠点のついてはホームページがまだないため、下記のホームページを参照のこと。

「Startup Hub Tokyo」
<https://startuphub.tokyo/service>
公社
<https://www.tokyo-kosha.or.jp/station/services/index.html>

令和2年度における丸の内拠点2階にある公社の実施事業は、基本的に令和元年度事業を踏襲する予定である。
丸の内拠点1階「Startup Hub Tokyo」の提供機能のうち、以下のサービスについて令和2年度以降の実施を想定している。

令和2年度～「Startup Hub Tokyo」が提供する機能想定

目的	機能名	概要
創業・起業希望者の掘り起し (すそ野の拡大)	創業に関するあらゆる情報の収集・管理・発信・周知及び相談に関する活動	
	情報提供 情報発信	・補助金、助成金等、起業・創業に関する行政情報の提供 ・公社事業並びに、公的・民間支援団体が実施する起業・創業支援事業の周知活動・内容説明 ・情報発信のためのHP、SNS運営 ・起業・創業希望者向けの無料誌の企画・制作・発行 ・関連書籍、雑誌等の収集・配架
	イベント 開催	【自主事業】 ・セミナーや勉強会、ビジネスマッチングイベントなど起業・創業に関する様々なイベントの企画、運営 【各支援団体との連携】 ・起業・創業に関する各種セミナー等のイベントを行う支援団体に対するセミナースペース等の無料提供、共同開催
	相談業務	・先輩起業家による起業・創業に関する様々な相談に対応 ・公社や様々な起業・創業支援団体と起業希望者との繋ぎこみ
	交流促進	・ラウンジスペース利用者や相談利用者、イベント参加者同士の交流促進
他支援団体等への誘導 (HUB機能)	創業者を適切な他事業へつなぐ	
	ネットワーク	・様々な起業・創業支援団体とのネットワーク構築 ・公社事業並びに、公的・民間支援団体が実施する起業・創業支援事業への繋ぎこみ ・各種情報共有

5. 成果目標

①新規会員登録者数： 初年度4,500人、次年度5,000人
②述べ来場者数：初年度18,000人、次年度20,000人

また、参考指標として、ハブ機能件数（＝公社や他機関を紹介し、実際に利用したことが確認できた件数）、創業者数について、アンケート等による把握を求める。